P Z

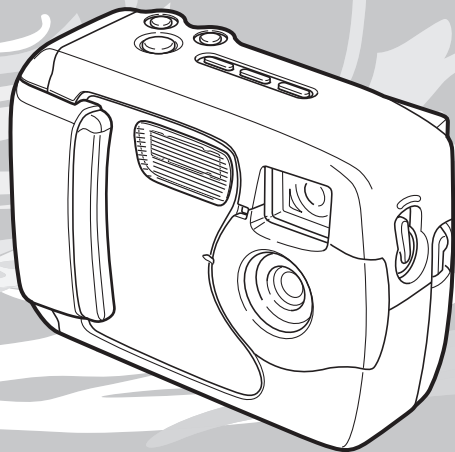
液晶デジタルカメラ

GV-10

取扱説明書（保証書付き）

ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買上げ頂き、まことにありがとうございます。
本機は、撮影した内容をその場で見ることができる液晶カラーモニターを備えた、コンパクトタイプの液晶デジタルカメラです。本機をご使用になる前に、必ず、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

J

はじめに

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。

絵表示の例

	⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。
	● 記号は「しなければならないこと」を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

危険

アルカリ電池について

- アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。
   そのままにしておくと失明の原因となります。

警告

煙、臭い、発熱などの異常について

- 煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

警告

電池について

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れる
  充電式電池の「安全上のご注意」は充電式電池の取扱説明書をご参照ください。

AC アダプター（別売品）について

- AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 必ず別売の本機専用品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- １つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

- ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだら、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

- 濡れた手でACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。

火中に投入しない

- 本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

移動しながら撮影しない

- 自動車などの運転中や歩行中に撮影したり、モニターを見ないでください。転倒、交通事故の原因となります。

警告

フラッシュについて

- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれがある場所では使用しないでください。引火・爆発の原因となります。

- 運転者に向けてフラッシュを使用しないでください。目がくらんで運転不可能になり、事故を起こす原因となります。

水、異物はさける

- 水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。雨天、降雪中、海岸、水辺、風呂場での使用は特にご注意ください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

分解・改造しない

- 本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ･サービスステーションにご依頼ください。

落とさない、ぶつけない

- 本機を落としたときなど､破損したまま使用すると火災･感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

注意

電池について

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 本機で指定されている電池以外は使用しない
  - 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

  充電式電池の「安全上のご注意」は充電式電池の取扱説明書をご参照ください。

AC アダプター（別売品）について

- AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
  - プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ず AC アダプターを持って抜く）
  - プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
  - 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
  - プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように清掃する

コネクター部への接続

- コネクター部には、指定以外の別売品を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

置き場所について

- 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
  - 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

注意

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

大切なデータは控えをとる

- 本機に記憶させた内容は、パソコンなどに転送してバックアップとして保管してください。本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

メモリー保護

- 電池交換を行う際は、取扱説明書をよくお読みになり、正しく行ってください。電池交換のしかたを誤ると、データが消えたり、変化したりすることがあります。

フラッシュについて

- フラッシュを人（特に顔）に向けて至近距離で発光させないでください。視力の低下などの障害を起こす原因となることがあります。

持ち運びのとき

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故の原因となることがあります。

■ ご注意 ■

電池持続時間について

- 本取扱説明書に記載の電池持続時間は、推奨メーカーの電池を標準温度（25℃）で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。
  （持続時間は電池メーカー、電池製造時期、周囲温度により大きく左右されます。）
- 連続してご使用になりますとバッテリー警告が早く出ますので、使用しないときは、こまめに電源を切る事をお勧めします。
- バッテリー警告マークは電源が切れる寸前であることを示しております。
  交換の際はすべて新しい電池と交換してください。
  消耗した電池での連続使用は液漏れやデータ破壊の原因となることがあります。

付属品の確認

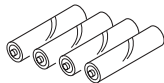
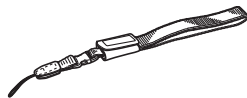
箱を開けたら、まず下記の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、付属品が全部そろっていなかった場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

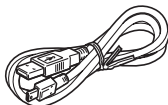
デジタルカメラ本体

メモリーカード（コンパクトフラッシュカード 8MB）

- 出荷時にデジタルカメラ本体に装着されています。

レンズキャップ／キャップホルダー

アルカリ電池（単3形×4）

ストラップ

CD-ROM

USBケーブル

取扱説明書

取扱説明書
（保証書付き）

専用ソフト取扱説明書
（インストール編）

目次

撮影する 45

再生する 57

消去する 60

画像の管理について 62

その他の設定について 66

他の機器との接続 68

付録 77

早わかりガイド

準備をする

1

電池とメモリーカードを入れます。（33、40ページ）

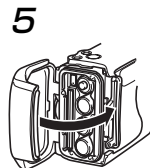
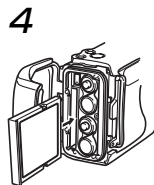
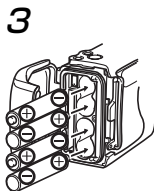
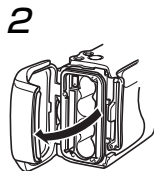
1

2

3

4

5

6

＊ Oリング、接合面に砂、ゴミ等が付いていたら確実に取り除いてください。

2

日時設定をします。（43ページ）

撮影する（詳細は45ページ参照）

撮影した画像を見る（再生）（詳細は57ページ参照）

撮影した画像を消す（詳細は60ページ参照）

1 【電源スイッチ】を“ON”に合わせて電源を入れます。

2 【ダイヤル】を“▶”（再生）に合わせます。

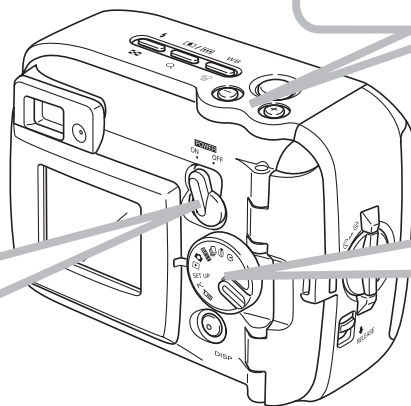
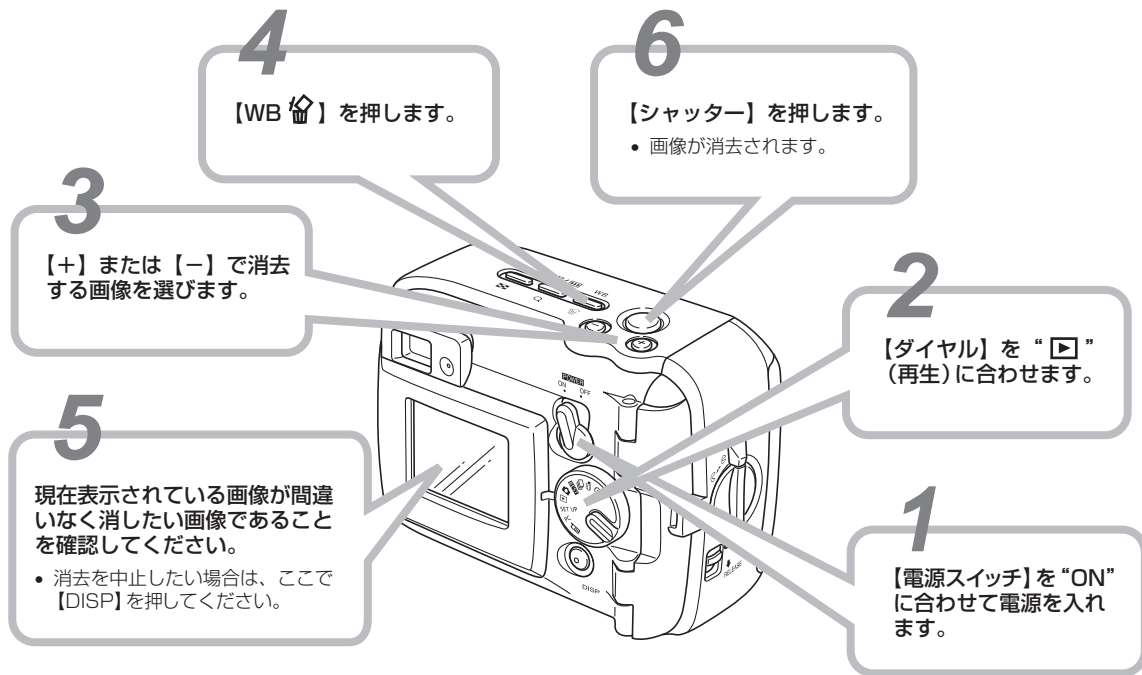
3 【＋】または【－】で消去する画像を選びます。

4 【WB 🗑】を押します。

5 現在表示されている画像が間違いなく消したい画像であることを確認してください。

- 消去を中止したい場合は、ここで【DISP】を押してください。

6 【シャッター】を押します。

- 画像が消去されます。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部又は全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- デジタルカメラを使って撮影したものは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の商標です：

- Windows、Internet ExplorerおよびDirectXは米国マイクロソフト社の商標です。
- Macintoshは米国アップルコンピューター社の商標です。
- CompactFlash、コンパクトフラッシュ、CFロゴは米国SanDisk社の商標です。
- USBドライバ（マスストレージ）はPhoenix Technologies社のソフトウェアを使用しています。

  Compatibility Software Copyright © 1997

  Phoenix Technologies Ltd., All Rights Reserved.
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

本機の特徴

- 撮影の場を拡げる防水性能
  JIS防水保護等級6級、および7級に適合しています。今まで水が掛かることを心配して持って行くことをためらった所でも、気にせず持って行くことができる防水性能を実現しています。
- 水だけに留まらない保護性能 <防塵性能>
  撮影の場を拡げるとき、カメラ内へ侵入しようとするものは水だけではありません。砂や土、ホコリをシャットアウトするJIS防塵保護等級6級に適合する防塵性能を実現しています。
- タフに使える耐衝撃性能
  Gショックで培われた技術を活かし、従来のカメラに比較して、飛躍的に耐衝撃性を高めました。
  銀塩カメラからデジタルへ、そして精密光学機器から、タフに使える電子情報機器へと進化しました。
- ベストショット機能搭載
  新たにスキー場での撮影や、海辺での撮影シーンを設定。カメラが煩わしい設定を自動的に行うので、簡単に綺麗な写真を撮ることができます。
- メガピクセル(123万画素)CCD採用
  実用上充分な画素数でありながら、パソコン上での編集などで扱いやすい123万画素CCD(総画素数131万画素)を搭載。また、補間処理により200万画素相当の1,600 x 1,200画素での記録を可能にしています。
- クイックな操作性を実現する単焦点・固定焦点レンズ
  レンズの初期設定が不要なため、起動時間が短く、また、撮影時の素早いシャッターも実現します。
  その俊敏性を活かすため、ズームにはデジタル方式を採用しています。
- 連写、ムービー撮影機能搭載
  内部メモリーを活用した高速連写撮影、スポーツシーンで有効なムービー機能を搭載しています。
- PCカメラモード搭載
  USB接続で、パソコンへリアルタイムな映像を送ることが可能。ブロードバンド時代に拡がるネットミーティングなどに活用できます。
- ミニUSB端子対応
  小型USB端子の新標準規格に準拠した端子を採用。汎用性が拡がっています。もちろん接続の簡便性はかわりありません。
- DCF(Design rule for Camera File system)対応
  画像データは統一規格のDCF規格に準拠しているため、同規格に準じた他の機器との互換性があります。
- DPOF(Digital Print Order Format)対応
  DPOF規格に対応しているため、同規格に準じたデジタルDPEサービスを簡単に利用することが可能です。
- Print Image Matching対応
  エプソン社のPrint Image Matching規格に対応しているため、同社の対応プリンタで印刷すれば、思った通りの色を再現しプリントすることができます。
- 「Photo Loader 2」、「Photohands」付属
  好評な自動取り込み機能を備えたPhoto Loaderの最新版を付属。メール自動添付機能などが加わりました。
  同時にレタッチ機能を備えたPhotohandsも付属。
  更に多彩に画像を活用できます。

防水性／防塵性について

本機はJIS防水保護等級7級※(防浸形)に適合しています。

※ JIS C 0920防水保護等級
7級：常温で水道水かつ静水の水深1mの水槽に静かに本機を沈めた状態で、約30分間水中に放置しておいても本体内部に浸水しないこと。

また、次の規格に相当する防水性／防塵性を持った設計を行っています。ただし、その性能を保証するものではありません。

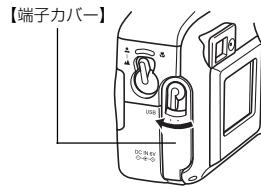
- 防水性：JIS防水保護等級6級(耐水形)
  いかなる方向からの水の直接噴流を受けても、内部に水が入らないこと。
- 防塵性：JIS外来固形物保護等級6級(耐塵形)
  直径75μ以下の粉(じんあい)が内部に侵入しないこと。

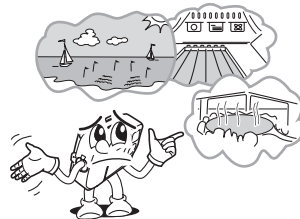
使用環境について

防水性／防塵性により、本機は濡れた手で触ったり、水で洗ったりすることができるほか、次のような場所でも使用することができます。

- 浜辺 • プールサイド • 川辺 • スキーゲレンデ • 雨の中

ご使用にあたっての注意事項

- 【電池ブタ】、【端子カバー】をしっかりと閉じてください。

本機は水中撮影用のカメラではありません。

高い水圧がかかる所での使用や、高い水圧での水洗い、水中に長時間沈めることはおやめください。また海水、プール、温泉の中には浸さないでください。

石けん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸さないでください。

快適にお使いいただくために

- 水濡れ後は本機のすきまに水がたまっている場合があります。よく振って水を抜きましょう。水がたまったまま持ち運ぶと、水が漏れて服やバッグの中などを濡らす恐れがあります。

使用状況による注意事項

次の条件で使用確認を行っています。

- 浜辺／プールサイド
  砂浜の上に直接置かないでください。海水、プールの水、砂などが付いた場合は、洗面器などにためた真水で洗い流してください。
- 雨の中
  雨とは「やや強い雨」の場合を想定しています。1時間の雨量がおよそ10mm以上で、大雨注意報の基準（1時間におよそ15～30mm以上）に達しないくらいの強さの雨を指します 。
  <参考>「雨の強さに関する用語」（気象庁）
  雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での【電池ブタ】、【端子カバー】の開閉は絶対にしないでください。
- 洗う
  一般的な家庭用水道の蛇口から出る弱めの水流（20mm口径の蛇口から最大98kPa（1kgf/cm^2））で、蛇口より約15cm離して洗ってください。洗う際、ブラシやタワシなどの道具は一切使用せず、手だけで軽くこすって洗ってください。

重要!
- これらは実際の使用時に全ての状況での動作を保証するものではありません。場合によっては過失が認められると修理不能や有償修理の対象となります。

共通注意事項

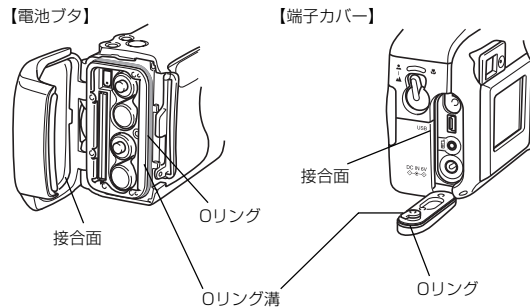
- 【電池ブタ】、【端子カバー】に組み込まれているOリングの接合面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1コ等）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。フタを閉じる際、わずかでも水滴・砂・汚れなどが付着している場合は、必ず乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- 海水／洗剤／砂／泥等が付着した場合、水道等の水流ではなく、洗面器などに溜めた真水で軽く洗い流してください、蛇口から直接水流で洗うと、水流で泥や砂がボタン等に入る恐れがあり不具合の原因となります。また、【電池ブタ】、【端子カバー】はきっちりと閉じてください。
- 水濡れ後は、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。

※ 本機内部がショートする恐れがありますので水滴が付着したまま放置しないでください。

※ 寒冷地では本機に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。

- 落下／衝撃については日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をする等、故意に極度な衝撃を与えた場合は壊れる場合がありますのでご注意ください。また、本機の性能に異常が無くても落下衝撃にてキズ等が発生します。
- 防水性を維持するために、【電池ブタ】、【端子カバー】のOリングは異常の有無にかかわらず、必ず2年ごとに交換（有料）してください。Oリングの交換については、カシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。

Oリング（ゴムパッキン）の点検

水がかかる場所で使用する際には、必ず【電池ブタ】、【端子カバー】のOリング（オーリング）とその接合面の点検を行ってください。砂粒1つ、髪の毛1本などの小さなゴミが付いていても防水性が損なわれ、水漏れします。また、水漏れすると修理不能となります。Oリング、Oリング溝、接合面に傷、変形、ゴミなどが付いていないことを十分確認してください。Oリングやその接合面にゴミが付いているときは清掃を行ってください。

Oリングにゴミが付いたら…

- Oリングを軽くずらして取り外し、水を湿した綿棒などで、Oリング溝、接合面に付いたゴミを取り除きます。
- Oリングを水洗いし、水気を取ってからOリング溝に取り付けます。
- Oリングが溝にしっかりと入っていることを確認してください。

重要!
- Oリングを無理に引っ張ったり、広げたりしないでください。
- Oリングは特殊加工されていますのでグリスを塗ったり、オイルが付かないように注意してください。
- 先のとがったものでOリングを外さないでください。傷が付いて、水漏れの原因となります。
- Oリングに著しいねじれがあると水漏れの原因となりますので、十分注意して取り付けてください。
- Oリングが切れたり、傷、変形がある場合や、ご購入後2年間を過ぎたOリングは傷の有無に関わらず、カメラごとカシオテクノ・サービスステーションにお持ちになり、新しいものと交換してください(有料)。また、ひんぱんに水気、砂、ホコリのある場所で使用するときは1年ごとに交換することをおすすめします。

カメラ使用後のお手入れ

砂や泥が付いたり、水気のある場所で使用した後は、【電池ブタ】や【端子カバー】を開く前に以下の手順に従ってカメラを水洗いしてください。

重要!
- 水洗いに使用する水は30℃以下の水道水を使用してください。
- カメラ内部は防水構造ではありませんので、必ず、水洗いをする前に【電池ブタ】や【端子カバー】が閉まっていることを確認してください。

1. 水に浸して洗います

- バケツなどに水を入れ、その中にカメラを浸し、ゴミ、泥、砂などが良く落ちるようにカメラを軽くゆすりながら洗います。
- 汚れたままの【レンズ】、【ファインダー】、【液晶モニター】、【フラッシュ】をこすらないでください。

2. カメラを拭く

- 清潔で乾燥した柔らかい布で、カメラの水気を拭き取り、陰干しして乾燥させます。

重要!
- 水漏れや故障の原因となりますので洗剤や熱湯、強い水流で洗わないでください。
- カメラを振り回して水切りしたり、ドライヤーなどで強制的に乾燥させないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 汚れがひどいときは、カシオテクノ・サービスステーションへご相談ください。

使用上のご注意

データエラーのご注意

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

  - 記録中に【電池ブタ】を開けたり、ACアダプターをはずした
  - 撮影中などにメモリーカードを抜いた
  - 電源をOFFにしたときに【動作確認用ランプ】が点灯している状態で電池やACアダプターを抜いた、【電池ブタ】を開けた、メモリーカードを抜いた
  - 通信中のケーブルはずれ
  - 消耗した電池を使用し続けた
  - その他の異常操作

このような場合、次の表示が出ましたら、画面に対応したご処置をお願いいたします。

- メモリーカード　エラー
- フォーマットサレテイマセン

画面に表示されるメッセージとその対処方法。（80ページ）

使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、0℃～40℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
  - 日中の車内、振動の多い場所

結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に充分慣らしてから取り出して、【電池ブタ】を開けたまま数時間放置してください。

蛍光管について

- 液晶画面のバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。液晶画面が暗くなったり、チラつく場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーション（84ページ）までご連絡ください。有償にてお取り替え致します。蛍光管の寿命は、一日2時間のご使用で約6年間です。
- 低温でご使用の場合は、バックライトが点灯するまでに時間がかかったり、赤味を帯びることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。

レンズについてのご注意

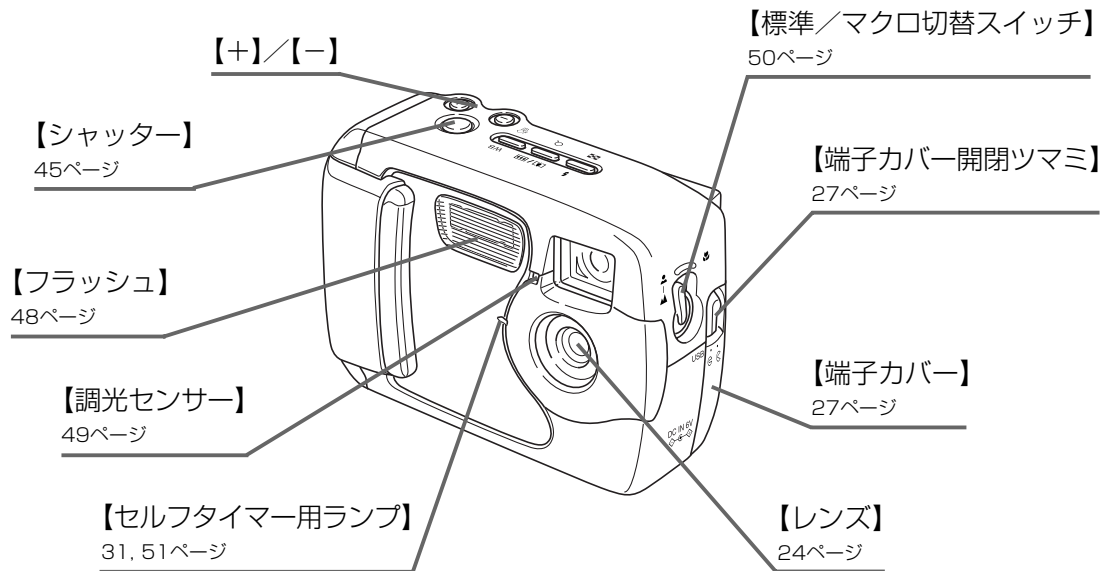
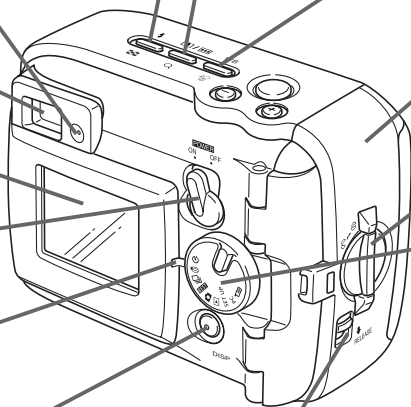
- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮されませんので、レンズ面には触れないでください。レンズ面の汚れは、ブロアー等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

準備する

初めてご使用になるかたはここからお読みになり、撮影前の準備を行ってください。

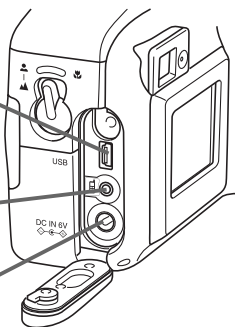
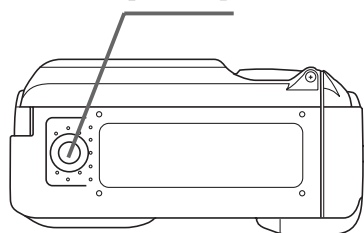
各部の名称

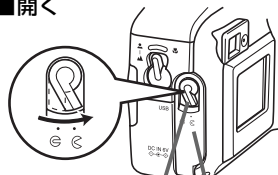
この取扱説明書では、本機の各部の名称を次のように【　】を使って表記します。スイッチやボタンなどの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

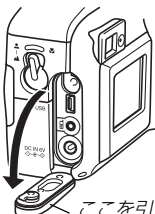
前面部

背面部

撮影モード

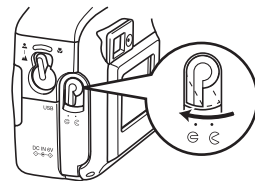
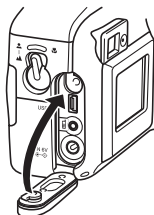
(セルフタイマー)	セルフタイマーモード	51ページ
(ムービー)	ムービーモード	53ページ
(連写)	連写モード	51ページ
BEST	ベストショットモード	52ページ
(通常撮影)	通常撮影モード	45ページ
(再生)	再生モード	57ページ
SET UP	セットアップモード	66, 77ページ
PC	PC接続モード	75ページ
(携帯)	携帯リンクモード	74ページ

端子部

底面部

端子カバーの開きかた/閉じかた

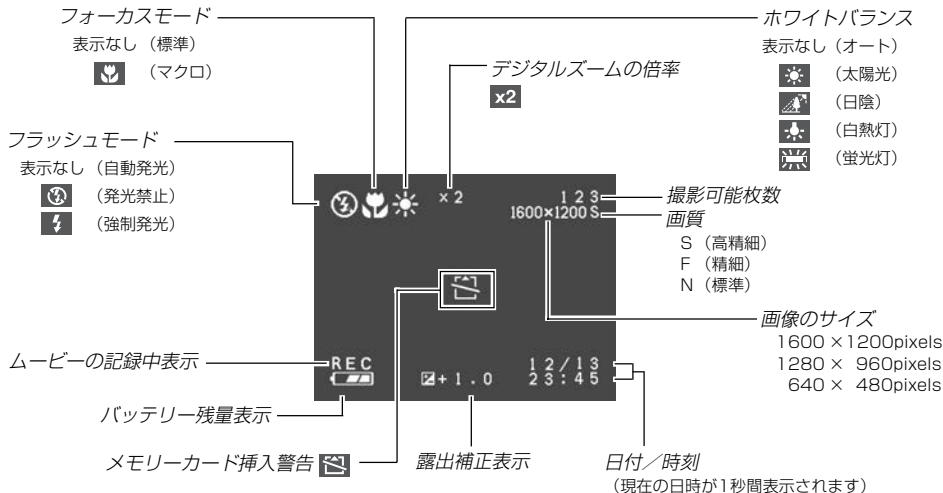
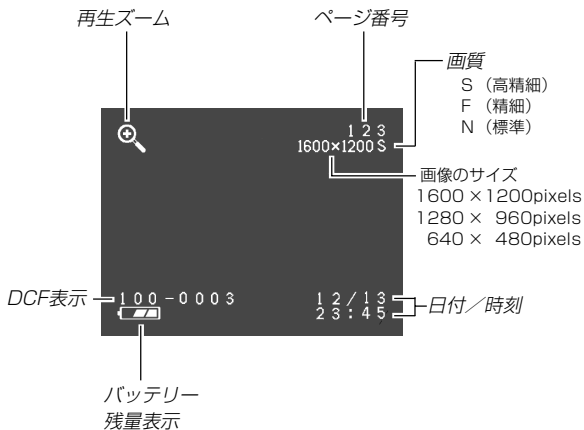
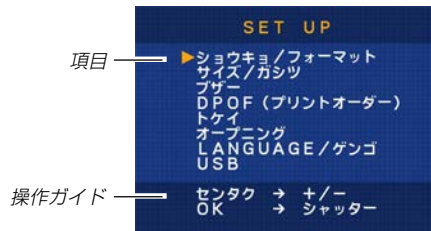
■開く

【端子カバー開閉ツマミ】

【端子カバー】

ここを引っ掛けて開きます。

■閉じる

液晶モニターの表示内容

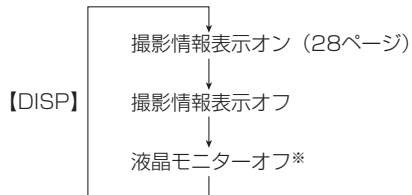
【液晶モニター】にさまざまな情報が表示されます。

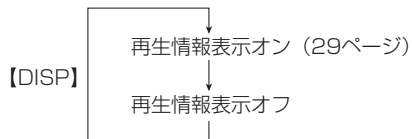
● 撮影モード時

- 撮影モードは次のモードです。
  通常撮影モード、連写モード、セルフタイマーモード、ムービーモード、ベストショットモード

● 再生モード時

● SET UPモード時

● 携帯リンクモード時

液晶モニターの表示内容を切り替える

撮影モード、再生モードでは【DISP】を押すことにより、【液晶モニター】に表示される内容を切り替えることができます。

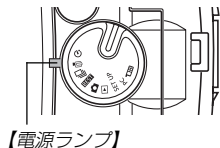
■ 撮影モード時

※ マクロ撮影、連写モード、ムービーモードでは液晶モニターオフはできません。

■ 再生モード時

ランプについて

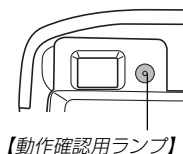
本機には【動作確認用ランプ】、【電源ランプ】、【セルフタイマー用ランプ】があります。点灯や点滅、色によってカメラの動作の状況を知らせます。

■電源ランプ

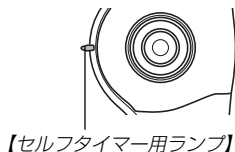
緑色で点滅：起動中／電源オフ中
緑色で点灯：通常電源オン状態
赤色で点滅：電池警告

【電源ランプ】

■動作確認用ランプ

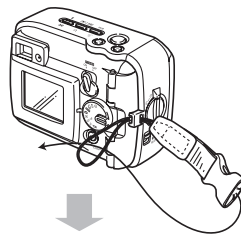
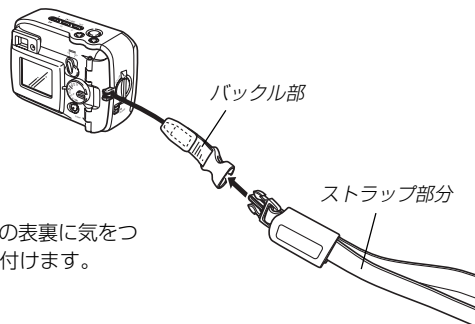
オレンジ色で点滅：フラッシュ充電中
オレンジ色で点灯：フラッシュ発光予測
緑色で点滅：ムービー撮影中/セルフタイマーのカウントダウン
赤色で点滅：メモリーカード異常

【動作確認用ランプ】

■セルフタイマー用ランプ

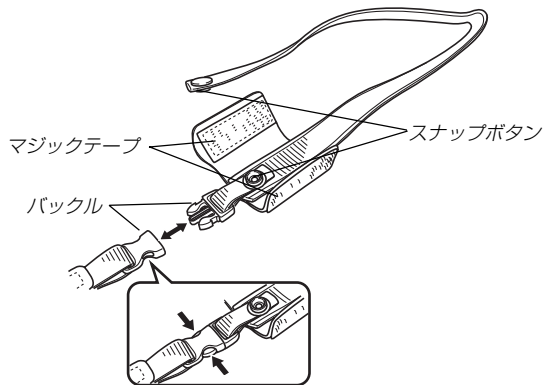
赤色で点滅：セルフタイマーのカウントダウン

【セルフタイマー用ランプ】

付属品の使いかた

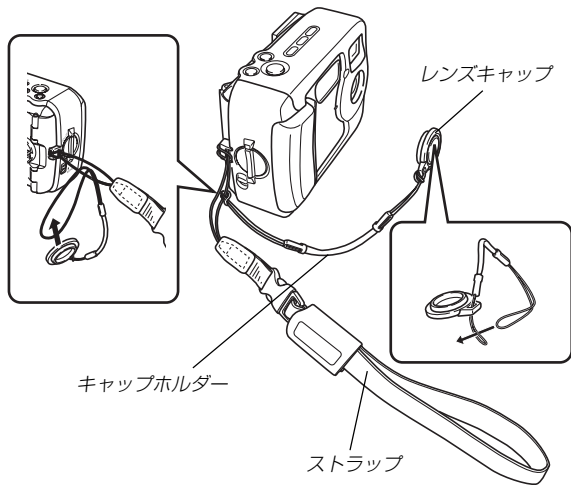
ストラップの取り付けかた

ストラップは、図のようにストラップ穴に取り付けます。

- ストラップ部分はバックル部からはずしておいてから取り付けます。

- バックルの表裏に気をつけて取り付けます。

■ストラップの使いかた

ストラップはバックル部で簡単に取りはずしができます。また、ストラップ部分はスナップボタンではずせますので、バッグなどに取り付けることができます。

重要！
- 本機操作時は落下を防止するため、必ずストラップに手を通した状態で使用してください。
- 付属のストラップは本機専用です。他の用途に使用しないでください。
- ストラップを持って本機を振り回さないでください。
- バックルには表裏がありますので、確認してから、取り付けてください。

レンズキャップの取り付けかた

本機をご使用にならないときは、必ずレンズキャップを取り付けてください。

- レンズキャップをキャップホルダーでストラップにつなぎ止めることで紛失防止ができます。
- レンズキャップを取り付けなくても耐水性に変わりはありません。

電源について

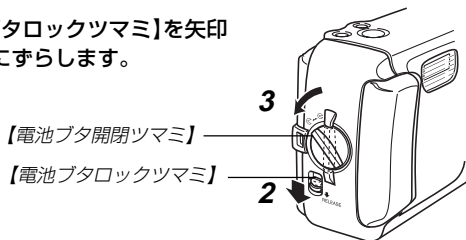
本機は下記のいずれかの電源が利用できます。

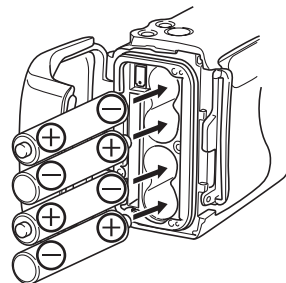
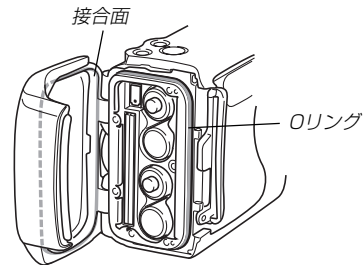
- 電池
  単3形アルカリ電池LR6：4本
  単3形リチウム電池FR6：4本
  単3形ニッケル水素蓄電池NP-H3：4本
- 家庭用電源
  ACアダプター：AD-C630J
  ACアダプターチャージャー：BC-3HA

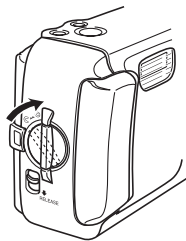
電池を使う

電池の交換の際は、電源を切った状態で行ってください。

1. **【電池ブタ】を開く前に砂や水分がカメラ内に入らないようによくふき取ります。**

2. **【電池ブタロックツマミ】を矢印の方向にずらします。**

3. **【電池ブタ開閉ツマミ】を“ ”の方向にまわし【電池ブタ】を開きます。**

4. **電池を図のようにセットします。**

5. **Oリングと接合面に傷やゴミがついていないか点検します。**

6.【電池ブタ】をしっかりと閉め【電池ブタ開閉ツマミ】を“⊖”の方向にまわします。

- 「カチッ」と音がするまでまわしてください。

メモリーカードの入れかたについては40ページをご覧ください。

重要!
- マンガン電池は使用できません。必ず単3形の指定電池をご使用ください。
- 【動作確認用ランプ】が点滅しているときは、【電池ブタ】を開けないでください。撮影された画像がメモリーカードに記録されなかったり、メモリーカードを破壊する場合があります。
- 水気のある場所では【電池ブタ】を開けないでください。カメラ内部に水が入り修理不可能となります。
- 暖かい室内から寒い屋外へ出た直後などでは、カメラ内部と外気の圧力差により【電池ブタ】が開きづらい場合があります。
- Oリングに傷やゴミがついたまま使用すると、防水性が損なわれ、浸水すると修理不可能になります。
- Oリングに傷がついたり、変形したときはカシオテクノ・サービスステーションにお持ちください。有償にて修理いたします。

■電池持続時間の目安

下記の電池持続時間は、標準温度(25℃)で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間、または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使用電池	連続再生時間	連続撮影時間(撮影枚数)
単3形アルカリ電池LR6	約3時間50分	約2時間40分(約800枚)
単3形リチウム電池FR6	約6時間10分	約5時間40分(約1700枚)
単3形ニッケル水素蓄電池NP-H3	約3時間40分	約2時間50分(約850枚)

- 測定条件
  標準温度(25℃)/連続撮影/フラッシュ非点灯

- 使用電池
  単3形アルカリ電池LR6　：松下電池工業(株)製
  単3形リチウム電池FR6　：富士写真フイルム(株)製
  ※ 電池持続時間は電池メーカーによって異なります。

- 仮に上記条件で1分毎に1枚ずつ撮影した場合、上記数値の約1/5になります。
- フラッシュの使用頻度や電源が入った状態の時間により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。
- 各電池の特性の違いからバッテリー残量表示の変化のスピードも各々で異なります。

■電池を長持ちさせるために

- フラッシュを使用しないで撮影するときは、【⚡ 】を押して(発光禁止)に設定してご使用いただくと電池持続時間が長くなります。
- オートパワーオフ機能(39ページ)により、電源の切り忘れなどのむだな電力消費をおさえることができます。

■電池特性による注意事項(アルカリ電池について)

アルカリ電池の持続時間は、メーカーや保存期間、使用温度、撮影条件により大きく異なります。通常ご使用になる場合、アルカリ電池よりも持続時間の長いニッケル水素蓄電池やリチウム電池のご使用をおすすめいたします。

例1： 断続的に使用した場合は、電池持続時間は短くなります。

- 条件 ： 常温(25° C)
  1分毎にフラッシュを発光し1枚ずつ、10分間撮影 → 1分間再生 → 9分間電源を切る。この操作を繰り返す。
- 動作時間：約3時間10分/撮影枚数：約173枚

例2： 低温下で使用した場合、電池持続時間は短くなります。

- 条件 ： 低温（0℃）
  1分毎にフラッシュを発光し1枚ずつ、10分間撮影 → 1分間再生 → 9分間電源を切る。この操作を繰り返す。
- 動作時間：約30分／撮影枚数：約28枚

■充電式電池のご利用について

充電式電池は、別売のニッケル水素蓄電池（NP-H3）をお使いください。他の充電式電池については動作保証いたしかねます。

ACアダプターチャージャー	：BC-3HA
ニッケル水素蓄電池／急速充電器セット	：BC-1HB4
ニッケル水素蓄電池（4本セット）	：NP-H3P4

重要!
- 電池は、必ず同じ製品を4本セットでご使用ください。違う種類の電池や、充電状態の異なる電池を組み合わせてご使用になると、電池寿命を短くしたり、カメラの故障の原因となります。
- 本機では充電できません。

■電池使用時の注意事項

●電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災、けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

●電池は、充電（充電池使用時を除く）や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

●使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。

- 2週間以上使用しないときは、取り出しておいてください。
- 電池が消耗してくると熱を持ちますが故障ではありません。

■バッテリー残量表示

電池が消耗すると【液晶モニター】に表示されているバッテリー残量表示が下記表のように変化します。［電池マーク］の状態で使用し続けると、自動的に電源が切れます。速やかにすべて新しい電池と交換してください。

電池残量	多 ←――――――――→ 少
画面情報表示	［電池マーク］ → ［電池マーク］ → ［電池マーク］

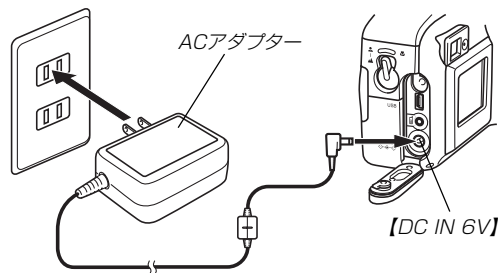
家庭用電源を使う

家庭用電源から電源を取るには専用のアダプターが必要です。

1. **【端子カバー】を開ける前に、砂や水分がカメラ内部に入らないようによくふきとります。**

2. **【端子カバー開閉ツマミ】を"⊂"に合わせて【端子カバー】を開きます。**

3. **アダプターのプラグを【DC IN 6V】に接続します。**

重要!
- 【端子カバー】が開いているときは、防水性はありません。砂や水分のない場所でご使用ください。
- 使い終わったら必ず【端子カバー】をしっかりと閉め、【端子カバー開閉ツマミ】を"⊖"に合わせて固定してください。

- ACアダプター：AD-C630J（別売）

※ ACアダプターは米国などAC100～120Vの電源地域への旅行の際は、そのままご使用になれます。

- ACアダプターチャージャー：BC-3HA（別売）

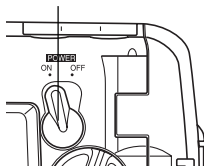
※ ACアダプターチャージャーはACアダプターの機能と、単3形ニッケル水素蓄電池の充電機能を備えています。また、単3形ニッケル水素蓄電池が4本同梱されています。
※ ACアダプターチャージャーはAC100～240Vの電源に対応しており、海外への旅行の際もご利用になれます。海外でのご使用では、各地域に合った市販の電源コードをお買い求めください。

■ACアダプター使用時の注意

- ●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・故障・感電の原因となります(ACアダプターは別売本機専用をご使用ください)。
- ●ACアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・事故・感電の原因となります。
- ●ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- ●濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ●タコ足配線をしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- ●万一、ACアダプターの電源コードが傷んだら(芯線の露出・断線など)、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

- ACアダプターを抜き差しする際は、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをするのはおやめください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行うと製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となります。
- ACアダプターは、長時間ご使用になりますと若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。
- ACアダプターのプラグを差し込むと、電池よりもACアダプターが優先されます。
- パソコンと接続する際は、ACアダプターをお使いください。

電源を入れる／切る

電源の入／切は【電源スイッチ】で行います。

ON　：電源が入ります。
OFF：電源が切れます。

重要! • オートパワーオフ機能で電源が切れた場合は、一度“OFF”に合わせてから、再度電源を入れてください。

電池の消耗をおさえるための機能

電池の消耗をおさえるために、以下の機能があります。

オートパワーオフ：一定時間操作しないと電源が切れます。電源が切れるまでの時間は使用中のモードによって異なります。

モード	電源が切れるまでの時間
通常撮影モード 連写モード セルフタイマーモード ムービーモード	2分
再生モード セットアップモード PC接続モード 携帯リンクモード	5分

• 以下の状態では、オートパワーオフは働きません。

– 本機の携帯電話接続端子やUSB接続端子を通じて本機を外部のパソコンなどと接続しており、外部機器で本機を操作しているとき

– ACアダプターを接続しているとき

メモリーカードについて

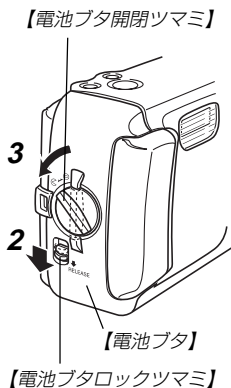
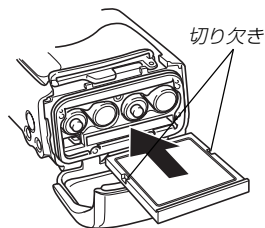
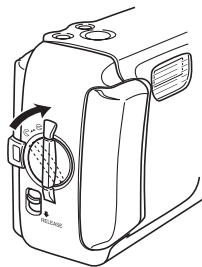
本機は、撮影画像の記録用としてメモリーカード(コンパクトフラッシュカード<CF TYPE Ⅰ>を使用します。

重要!
- マイクロドライブは使用できません。
- メモリーカードの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
- カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。

メモリーカードを入れる

1. 【電池ブタ】を開ける前に、砂や水分がカメラ内に入らないようによくふきとります。

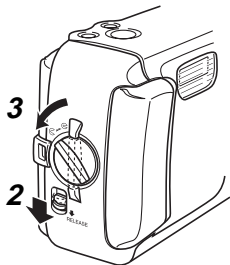
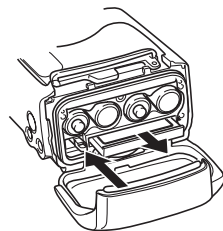
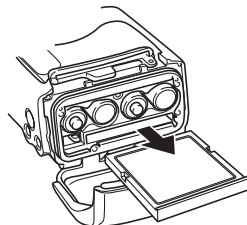
2. 【電池ブタロックツマミ】を矢印方向にずらします。

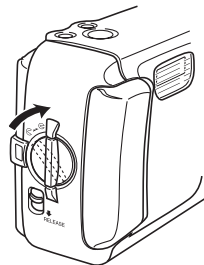
3. 【電池ブタ開閉ツマミ】を" "の方向へまわし【電池ブタ】を開きます。

4. メモリーカードの切り欠きのある面(裏面)を本機の前面部側に向け、しっかり押し込みます。

5. 【電池ブタ】をしっかりと閉め、【電池ブタ開閉ツマミ】を" "の方へまわして固定します。

メモリーカードを取り出す

1. 【電池ブタ】を開ける前に、砂や水分がカメラ内に入らないようによくふきとります。

2. 【電池ブタロックツマミ】を矢印方向にずらします。

3. 【電池ブタ開閉ツマミ】を"⊂"の方向へまわし【電池ブタ】を開きます。

4. 【イジェクトボタン】の"●"の部分を押し、【イジェクトボタン】を起こします。

5. 【イジェクトボタン】を深く押し込みます。

6. メモリーカードを取り出します。

7. 【電池ブタ】をしっかりと閉め【電池ブタ開閉ツマミ】を"⊖"の方へまわして固定します。

• 「カチッ」と音がするまでまわしてください。

重要!
- 故障の原因となりますので、メモリーカード挿入部にはメモリーカード以外のものを入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、電池・ACアダプターを抜いて、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。
- メモリーカードの挿入部を下にしたまま、カードを取り出さないでください。メモリーカードが落下して、故障やデータが破壊する場合があります。
- 【動作確認用ランプ】が点滅している間にメモリーカードを取り出さないでください。撮影された画像がメモリーカードに記録されなかったり、メモリーカードを破壊する場合があります。

メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードの内容がすべて消去されます。

重要!
- 一度メモリーカードをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマットしてもよいかをよく確かめてから行ってください。

1. **電源を入れ【ダイヤル】を"SET UP"に合わせます。**
2. **【＋】または【－】で"ショウキョ／フォーマット"を選び【シャッター】を押します。**
3. **【＋】または【－】で"フォーマット"を選び【シャッター】を押します。**
4. **【＋】または【－】で"フォーマット"を選び【シャッター】を押します。**

   キャンセル：フォーマットを実行しません。

   フォーマット：フォーマットを実行します。

メモリーカードのご注意

■メモリーカードについて

- 本機はメモリーカードが装着されていないと画像が記録できません。必ずメモリーカードを装着してください。
- メモリーカードは必ずカシオ製またはサンディスク製のコンパクトフラッシュカードを使用してください。他社のメモリーカードをお使いの場合は動作保障できません。また、動作確認を行ったメモリーカードについては、カシオホームページ(http://www.casio.co.jp/)をご覧ください。
- 静電気、電気的ノイズ等により記録したデータが消滅または破壊する事がありますので、大切なデータは別のメディア(MOディスク、ハードディスクなど)にバックアップして控えをとることをおすすめします。
- 万が一メモリーカードの異常が発生した場合は、メモリーカードのフォーマットの操作で復帰できますが、外出先などでこの操作を行えない場合に備えて複数枚のメモリーカードをお持ちすることをおすすめします。
- 異常と思われる画像を撮影したり、新たにメモリーカードをご購入された場合は、一度フォーマット(初期化)してお使いいただくことをおすすめいたします。
- フォーマットの操作を行うときは、ACアダプターを使用するか、新品のアルカリ電池またはリチウム電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行われず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。

日時の設定

お買い上げ後初めて撮影をする前に、日時を設定してください。この日時は、ファイル名やファイル情報などに利用されます。

- 電池や、ACアダプターで電源が供給されないと、約24時間で日時がリセットされます。
- 時刻が点滅している場合は、日時設定がセットされていない、またはリセットされていることが考えられますので、日時設定をしてください。
- 日時設定を行わないと、間違った時間データによって記録されてしまいます。必ず設定してください。

日付と時刻を設定する

1. **電源を入れ、【ダイヤル】を“SET UP”に合わせます。**

2. **【+】または【−】で“トケイ”を選び【シャッター】を押します。**

3. **【+】または【−】で“ジコク　セッテイ”を選び【シャッター】を押します。**

4. **設定項目を選び、日時を合わせます。**

【シャッター】............反転部分を移動させます。
【+】または【−】........反転部分の数字などを変えます。

5. **【DISP】で決定します。**

日付の表示方法を変える

画面上での日付の表示方法を2通りの中から選ぶことができます。

1. **電源を入れ、【ダイヤル】を“SET UP”に合わせます。**

2. **【+】または【−】で“トケイ”を選び【シャッター】を押します。**

3. **【+】または【−】で“スタイル”を選び【シャッター】を押します。**

4. **【+】または【−】で設定内容を選び【シャッター】で設定します。**

例）10月18日
MONTH/DAY（月／日）：10/18
DAY/MONTH（日／月）：18/10

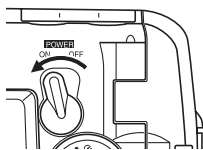
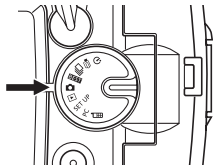
撮影する

ここでは最も基本的な撮影方法や基本的な設定について説明します。

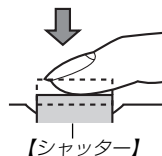
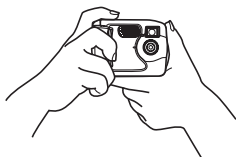
基本的な撮影

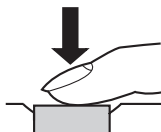
本機では撮影モードの中でも、通常撮影モードでの撮影が基本となります。被写体の明るさに応じてカメラがシャッター速度と絞り数値を自動的に調整します。

1. 【電源スイッチ】を"ON"に合わせます。

- 【液晶モニター】に画像またはメッセージが表示されます。

2. 【ダイヤル】を" 📷 "(通常撮影モード)に合わせます。

3. 【液晶モニター】を被写体に合わせます。

- 撮影できる範囲は、約60cm〜∞です。
- 【ファインダー】から被写体を見て撮影することもできます。(50ページ)
- 【ファインダー】から被写体を見るときは【DISP】を押して、【液晶モニター】を消すことで、電力の消費を減らすことができます。

4. 【シャッター】を半押しし、露出を固定(AEロック)します。

- レンズや各センサーを指でふさがないでください。

5. **【シャッター】を全押しします。**

- 撮影されます。

- 撮影された画像は、いったん本機に内蔵のバッファメモリーに記憶され、順次メモリーカードに保存されます。バッファメモリーがいっぱいになるまで、連続して撮影を続けることができます。
- 画質によって保存できる枚数が異なります。(54ページ)
- 手ぶれを起さないために、【シャッター】は静かに押してください。
- まわりが暗いときや、ズームで撮影するときは、手ぶれ防止のため、三脚の使用をおすすめします。

撮影時の画面のご注意

- 撮影時、【液晶モニター】に表示される被写体の映像は、フレーム確認のための簡易画像です。
  撮影した内容は、選択した画質で記録されており、出力画素数は確保されています。メモリーカードには精細な画像で記録されています。
- 被写体の明るさにより、撮影時の【液晶モニター】の表示速度が遅くなったり、ノイズが出る場合があります。

撮影時のご注意

- 【動作確認用ランプ】が緑色に点滅している間に【電池ブタ】を開けることは、絶対におやめください。今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されるおそれがあります。
- メモリーカードに記録中は、電池・ACアダプター、およびメモリーカードを抜かないでください。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。

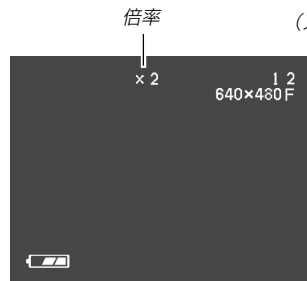
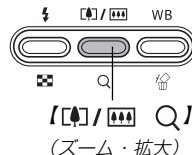
電池消耗時の画像記録について

通常は一時的に画像を内蔵のバッファメモリーにため、順次メモリーカードへ画像を記録することで撮影間隔を短縮しています。ただし、電池が消耗し、バッテリー残量表示が“ ”になったときは画像の記録もれを防ぐために、1枚撮影する毎に内蔵のバッファメモリーを使わずにメモリーカードに画像を記録するようになり、撮影間隔が長くなります。

ズームについて

本機のズームは、デジタルズームを採用しています。
デジタルズームは画面の中央を拡大して記録します。ズームの倍率は次の通りです。

倍率：2倍

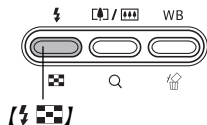
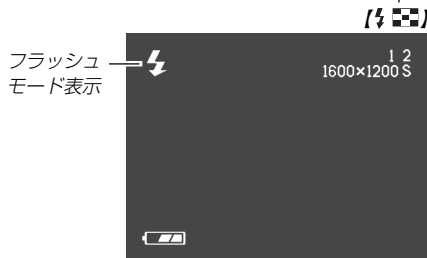
1. 撮影モードで【 / 】を押して倍率を変えます。

- 【 / 】を押すたびに【液晶モニター】に倍率が表示され、切り替わります。

  ×1（1倍）⟷ ×2（2倍）

- 画像のサイズが1600×1200のとき、またはムービーモードでは、デジタルズームを使用できません。

フラッシュについて

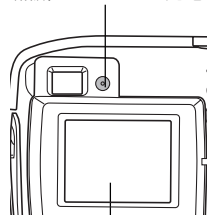
撮影条件に合わせてフラッシュをさまざまに調整することができます。

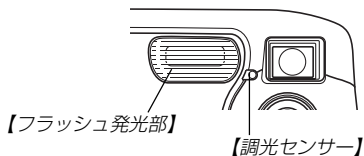
1. 撮影モードで【⚡ ▦】を押してフラッシュモードを選びます。

- 【⚡ ▦】を押すたびに【液晶モニター】に次の順でフラッシュの発光方法が表示され切り替わります。

表示なし(自動発光) → ⚡(強制発光) → ⓧ(発光禁止)

表示なし(自動発光):露出に合わせて自動的に発光します。
⚡(強制発光):露出に関係なく強制的に発光します。
ⓧ(発光禁止):露出に関係なく発光しません。

フラッシュの状態について

フラッシュの状態については、【液晶モニター】や【動作確認用ランプ】で確認できます。

フラッシュ使用時のご注意

- 【フラッシュ発光部】や【調光センサー】が指で隠れないようにしてください。隠れてしまうとフラッシュ本来の効果が得られなくなります。

- フラッシュによる撮影距離は下記の通りです。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。

  約0.6m〜約2m

- フラッシュの充電時間は、そのときの使用条件(電池の種類、状態や温度等)により異なります。

  数秒〜10秒程度

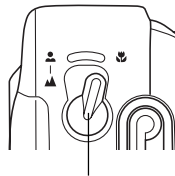
- 連写モードまたはムービーモードの場合はフラッシュは発光しません。このとき“ ”(発光禁止)が表示されます。
- 電池が消耗するとフラッシュの充電ができなくなることがあります。このとき“ ”(発光禁止)が点灯し、フラッシュが正常に発光せずに適正な露出が得られないことを示します。速やかに新しい電池と交換してください。
- フラッシュを使用した場合は、ホワイトバランスが固定されるため、外光や蛍光灯など他の光源があると色味が変わることがあります。

近くの物を撮影する

本機は、撮影したい被写体までの距離に応じて、標準／マクロ（接写）の切り替えができます。

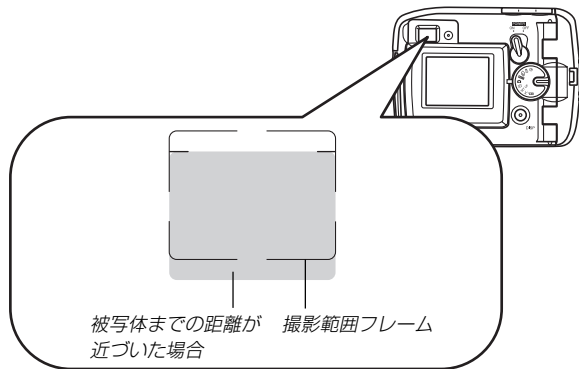
	焦点距離	位置
標準	約60cm～∞	
マクロ（接写）	約10cm	

- 焦点距離はレンズ前面から被写体までの距離です。

1. 近くの物を撮影する場合は【標準／マクロ切替スイッチ】を“ ”に合わせます。

【標準／マクロ切替スイッチ】

- マクロのときは【液晶モニター】に“ ”が表示されます。
- 通常は【標準／マクロ切替スイッチ】を“ ”に合わせておいてください。

ファインダーを使用した撮影

【ファインダー】を覗きながら撮影する場合は、以下の内容に注意しながら撮影してください。

撮影範囲フレームは約 3 m離れた被写体を撮影した場合の範囲です。被写体の距離が近かったり遠かったりする場合、実際に写る範囲が異なります。
10cmより近い範囲で撮影するときには【標準／マクロ切替スイッチ】を“ ”に合わせてマクロ撮影にしてから撮影してください。

- マクロ撮影、連写撮影にすると、自動的に【液晶モニター】がつきますので、【液晶モニター】をファインダーとして使用することをおすすめします。

連続撮影する(連写モード)

【シャッター】を押し続けることで、連続撮影ができます。ただし、連続撮影のスピードは撮影画質によって異ります。

1. 【ダイヤル】を“ ”(連写モード)に合わせます。

2. 【シャッター】を押し続けて撮影します。

- シャッターをはなすと画像の記録が始まります。

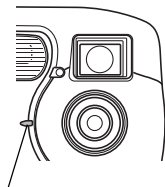
重要!
- 連続撮影では、フラッシュは発光しません。
- 連続撮影では、セルフタイマーは使用できません。
- バッテリー残量表示が“ ”になった状態では連続撮影できません。
- メモリーカードに記録中は、電池・ACアダプター、およびメモリーカードを抜かないでください。
- “サイズ/ガシツ”が“1600×1200 SUPER”のモードでは連続撮影はできません。

セルフタイマーを使って撮る

セルフタイマーは10秒です。

1. 【ダイヤル】を“ ”(セルフタイマーモード)に合わせます。

2. 【シャッター】を押して撮影します。

- 【セルフタイマー用ランプ】が点滅し、約10秒後に撮影されます。
- カウントダウン中は【液晶モニター】が消えます。
- カウントダウン表示中に【シャッター】を押すと、セルフタイマーを解除することができます。

【セルフタイマー用ランプ】

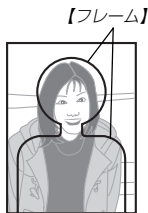
さまざまなシーンを選んで撮る(ベストショットモード)

18種類のシーンの中から撮影したいシーンを選ぶと、自動的にそのシーンに最適な設定になります。

■撮影例

縦置きの人物を撮りたい場合は“ポートレート”を選びます。

■フレームについて

選んだシーンによっては【液晶モニター】に【フレーム】が表示されます。フレームに被写体をあわせることでバランスのよい構図で撮影することができます。

例:ポートレート

1. **【ダイヤル】を“BEST”(ベストショットモード)に合わせます。**

2. **【+】または【−】で撮影したいシーンを表示させ【シャッター】を押します。**

3. **【シャッター】を押して撮影します。**

- シーンに使用されている画像は本機で撮影されたものではありません。イメージ画像です。
- 被写体の条件によっては、充分な効果が得られなかったり、正しく撮影されない場合があります。
- 他の撮影モードからベストショットモードに切り替えた場合、最後に選択されたシーンが表示されます。
- ベストショットモードではEVシフトはできません。
- シーンを選んだ後でも【+】または【−】を押してシーンを選びなおすことができます。

動画を撮る(ムービーモード)

最大10秒まで動画を撮影することができます。

- ファイル形式:AVI
  AVI形式は、Open DMLグループが提唱したMotion JPEGフォーマットに準拠しています。
  ただし、本機で音声データは記録できません。
- 画像のサイズ:320×240 pixels
- 動画の記憶容量
  記憶容量:約300KB/秒
  一度に撮影可能なムービーの最長時間:10秒

1.【ダイヤル】を""(ムービーモード)に合わせます。

2.【シャッター】を全押しします。

- 10秒間撮影が続きます。
- 10秒以内のムービーを撮影する場合は、【シャッター】を押すことで撮影を終えて、記録を始めることができます。

重要!
- ムービーモードでは、フラッシュは発光しません。
- Windows 98/2000でAVIファイルを見る場合は、付属のCD-ROMに収録されているDirectXをインストールしてください。

画像のサイズと画質を変える

本機は、撮影する内容に応じて、画像のサイズと画質の切り替えができます。

1.【ダイヤル】を"SET UP"に合わせます。

2.【+】または【−】で"サイズ/ガシツ"を選び、【シャッター】を押します。

3.【+】または【−】で設定内容を選び【シャッター】を押します。

●サイズ/画質

出力画素数 (pixels)	撮影画質	ファイルサイズ
1600 × 1200	SUPER	約850KB
1280 × 960	FINE	約500KB
	NORMAL	約350KB
640 × 480	FINE	約150KB
	NORMAL	約90KB

重要!
- 撮影した画像によってファイルサイズが異なるため、記録枚数は変化します。
- 画面上の表示枚数は最大で999枚までです。

露出を補正する

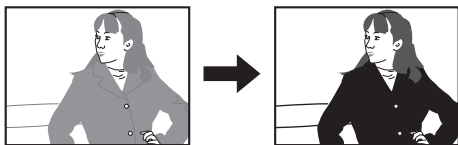
本機は、撮影時の明るさに応じて、露出値(EV値)を下記の範囲で手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影などに利用すると、より良好な画像が得られます。

露出補正値 ： −2EV ～ +2EV
補正単位 ： 1/3EV

1. 撮影モードで【+】または【−】を押して露出補正(EVシフト)します。

- 【液晶モニター】に露出補正値が表示されます。

【＋】：＋方向に補正されます。白い物の撮影や逆光での撮影のときに押します。

【－】：－方向に補正されます。黒い物の撮影や晴天の野外などのときに押します。

- 露出補正値をリセットする場合は、反対方向に露出補正し、[露出補正アイコン]を消してください。

2. 適切な明るさになったら【シャッター】を押して撮影します。

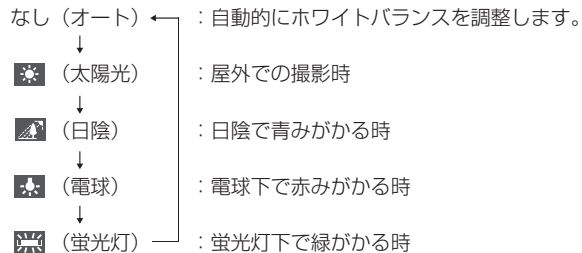
重要! • 明るすぎたり、暗すぎたりする場合は、露出補正ができない場合があります。

ホワイトバランスを変える

ホワイトバランスとは、被写体を自然な色合いで撮影できるように白を基準に調整することです。

1. 撮影モードで【WB 】を押してホワイトバランスを変えます。

- 【WB 】を押すたびに【液晶モニター】に次の順でホワイトバランスが表示され、切り替わります。

なし（オート）：自動的にホワイトバランスを調整します。
↓
（太陽光）：屋外での撮影時
↓
（日陰）：日陰で青みがかる時
↓
（電球）：電球下で赤みがかる時
↓
（蛍光灯）：蛍光灯下で緑がかる時

再生する

本機は【液晶モニター】を備えているので、記録されている内容を本機だけで確認することができます。

基本的な再生のしかた

記録されている画像を順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

1. 【ダイヤル】を"▶"(再生モード)に合わせます。

2. 【+】または【−】で画像を見ていきます。

【+】:進みます。
【−】:戻ります。

- 【+】または【−】を押しつづけると画像が早く送られます。
- 初めに表示される画像は簡易画像のため、粗い表示になっていますが、その後、精細な画像が表示されます。ただし、他のデジタルカメラからコピーした画像では、この限りではありません。

動画を再生する

ムービーモードで撮影した動画を再生することができます。

1. 再生モードにします。

2. 【+】または【−】で、ムービーモードで撮影した動画を表示させます。

ムービーモードのアイコン

3. 【シャッター】を押すと、動画が再生されます。

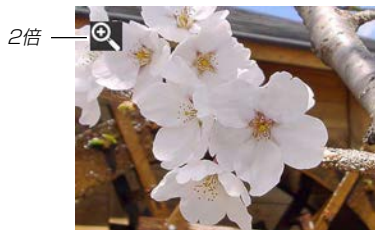
- 【⚡ ▦】または【[♠]/♠♠♠ 🔍】を押すと再生が終了します。

画像を拡大して表示する

撮影した画像を拡大して表示させることができます。

1. 再生モードにします。

2. 【＋】または【－】で拡大したい画像を表示させます。

3. 【[]/ 】を押して、画像を拡大します。

- 【[]/ 】を押すたびに1倍、2倍の表示切り替えができます。

【＋】：中央から右へスクロールします。
【－】：中央から左へスクロールします。
【シャッター】：拡大を終了します。

重要! • 動画は拡大表示できません。

1つの画面に9つの画像を表示する

撮影した内容を9つまで同時に一覧表示させることができます。

1. 再生モードにします。

2. 【 】を押します。

- 9つの画像が表示されます。

1	2	3
4	5	6
7	8	9

【＋】→ ← 【－】

10	11	12
13	14	15
16	17	18

【＋】→ ← 【－】

19	20	21
22	23	24
25		

【＋】：進みます。
【－】：戻ります。

3. 【＋】、【－】、【DISP】以外のボタンを押すと9画面表示は終了します。

目当ての画像を素早く表示する

1. 9画面表示に切り替えます。

2. 【DISP】を押します。

- □ が表示されます。

3. 【＋】または【－】で□を目当ての画像に移動させて【シャッター】を押します。

- 目当ての画像が1枚で表示されます。

消去する

画像を消去する方法には次の2つの方法があります。

表示画像 ：表示されている画像を1画像ずつ消去する。
全画像 ：すべての画像を消去する。

重要! • 一度消去してしまった撮影内容は、二度と元に戻すことはできません。消去の操作を行う際は、本当に不要な画面かどうかをよく確かめてから行ってください。特に、全画像消去の操作では、撮影したすべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

表示されている画像を消去する

表示されている画像を1画像ずつ消去することができます。

1. **再生モードにします。**

2. **【+】または【−】で消去したい画像を表示させます。**

3. **【WB 🗑】を押します。**

4. **表示されている画像が消したい画像であることを確認します。**

- 消去を中止したい場合は【DISP】を押します。

5. **【シャッター】を押して、表示している画像を消去します。**

- 1画像消去を行うごとに、ページの空きができないように自動的にページ詰めが行われます。ただし、ファイル名は詰められません。

ページ番号	100-1	100-2	100-3	100-4
ファイル名	100-0001	100-0002	100-0003	100-0004

↓

ページ番号	100-1	100-2	100-3
ファイル名	100-0001	100-0002	100-0004

全画像を消去する

すべての画像を消去することができます。

1. **【ダイヤル】を"SET UP"に合わせます。**

2. **【＋】または【－】で"ショウキョ／フォーマット"を選び【シャッター】を押します。**

3. **【＋】または【－】で"ショウキョ（ALL）"を選び【シャッター】を押します。**

4. **【＋】または【－】で"ショウキョ"を選び【シャッター】を押して消去します。**

- 消去を中止する場合は"キャンセル"を選び【シャッター】を押してください。

画像の管理について

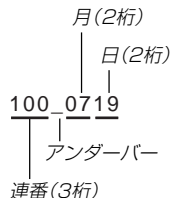
本機では画像の撮影や再生の他、画像プリント時の枚数指定等の設定ができます。

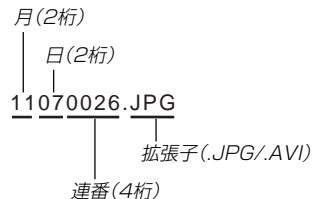
フォルダの分類について

本機はメモリーカード内に、フォルダ(ディレクトリ)を自動的に作成します。

メモリーカード内のフォルダについて

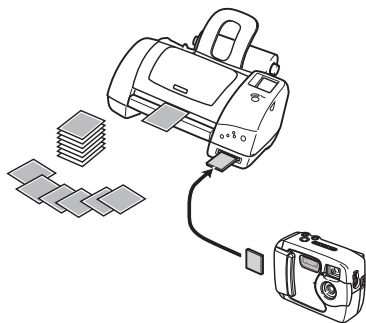
撮影した画像は月日を名前としたフォルダの中に自動的に記録されます。フォルダは最大900作成されます。フォルダ名は次の通りです。

例：100(連番)、7月19日撮影

画像のファイル名は次の通りです。

例：11月7日の26番目に撮影した画像

- メモリーカード内に保存できるフォルダ数、ファイル数はメモリーカードの容量や画質によって異なります。
- メモリーカード内の詳しいディレクトリ構造に関しては「メモリーカード内のディレクトリ構造」(72ページ)をご覧ください。

DPOF機能について

DPOF(Digital Print Order Format)とはデジタルカメラで撮影した中からプリントしたい画像や枚数などの設定情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。メモリーカードを通じてDPOF対応の家庭用プリンターやサービスラボでプリントすることができます。
本機では撮影された画像ファイル名などを意識することなく、【液晶モニター】で確認しながらプリントしたい画像の設定を行うことができます。

- 設定可能な内容
  画像／枚数／日付

1画像単位で印刷の設定をする

1. 【ダイヤル】を"SET UP"に合わせます。

2. 【+】または【−】で"DPOF(プリントオーダー)"を選び【シャッター】を押します。

3. 【+】または【−】で"コベツ"を選び【シャッター】を押します。

- 前回DPOFの設定を行っていない場合は手順5に進みます。

4. 前回DPOFの設定を行っている場合は設定を"リセット"するか"ヘンシュウ"するかを【+】または【−】で選び【シャッター】を押します。

リセット　：前回の設定を消去します。
ヘンシュウ：前回の設定を編集します。

5. 【＋】または【－】で印刷したい画像を表示させ【シャッター】を押します。

6. 【＋】または【－】でプリント枚数を指定し【シャッター】を押します。

7. 【＋】または【－】で日付印刷の有無を指定し【シャッター】を押します。

- プリンターによっては日付を印刷できないものがあります。
- 他の画像についても設定を行う場合は手順5～7を繰り返してください。

8. 【DISP】を押して、終了します。

全画像に印刷の設定をする

1. 【ダイヤル】を"SET UP"に合わせます。

2. 【＋】または【－】で"DPOF（プリントオーダー）"を選び【シャッター】を押します。

3. 【＋】または【－】で"イッカツ"を選び【シャッター】を押します。

- DPOFの設定を行っていない場合は手順5に進みます。

4. 前回DPOFの設定を行っている場合は設定を"リセット"するか"ヘンシュウ"するかを【＋】または【－】で選び【シャッター】を押します。

リセット　：前回の設定を消去します。
ヘンシュウ：前回の設定を編集します。

5. 【＋】または【－】でプリント枚数を指定し【シャッター】を押します。

6. 【＋】または【－】で日付印刷の有無を指定し【シャッター】を押します。

- プリンターによっては日付を印刷できないものがあります。

7. 【DISP】を押して、終了します。

PRINT Image Matchingについて

本機はPRINT Image Matchingに対応しています。PRINT Image Matching対応のプリンターを使用すれば、画像データに記録された撮影モードの情報などから、撮影意図を忠実に再現したプリントが可能になります。

※PRINT Image Matchingは、「デジタルカメラの色情報に関するPrint Command、PRINT Image Matching」に従った製品であることを示しています。

※PRINT Image Matchingの仕様書Version 1.0に対する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

その他の設定について

表示言語を切り替える

画面のメッセージを6言語の中から選ぶことができます。

1. **【ダイヤル】を“SET UP”に合わせます。**

2. **【＋】または【－】で“LANGUAGE／ゲンゴ”を選び【シャッター】を押します。**

3. **【＋】または【－】で表示させたい言語を選び【シャッター】を押します。**

ENGLISH ：英語
ESPAÑOL ：スペイン語
DEUTSCH ：ドイツ語
FRANÇAIS ：フランス語
ITALIANO ：イタリア語
JAPANESE ：日本語

ブザーのオンオフ

操作時のブザーのオンオフを切り替えることができます。

1. **【ダイヤル】を“SET UP”に合わせます。**

2. **【＋】または【－】で“ブザー”を選び【シャッター】を押します。**

3. **【＋】または【－】で設定内容を選び【シャッター】を押します。**

オン：操作音がでます。
オフ：操作音がでません。

オープニング画面を設定する

本機の電源を入れたときに表示されるオープニング画面を切り替えることができます。

1.【ダイヤル】を“SET UP”に合わせます。

2.【+】または【−】で“オープニング”を選び【シャッター】を押します。

3.【+】または【−】で設定したいオープニング画面を選び【シャッター】を押します。

タイプ1 ：オープニング画面1を表示します。

タイプ2：オープニング画面2を表示します。

オフ：オープニング画面を表示しません。

- “タイプ1”または“タイプ2”を選ぶと、電源をオフにしたときエンディング画面も表示されます。

USBモードを切り替える

本機のUSB接続はマスストレージクラスとイメージクラスに対応しており、使用する用途により切り替えて使う必要があります。

1.【ダイヤル】を“SET UP”に合わせます。

2.【+】または【−】で“USB”を選び【シャッター】を押します。

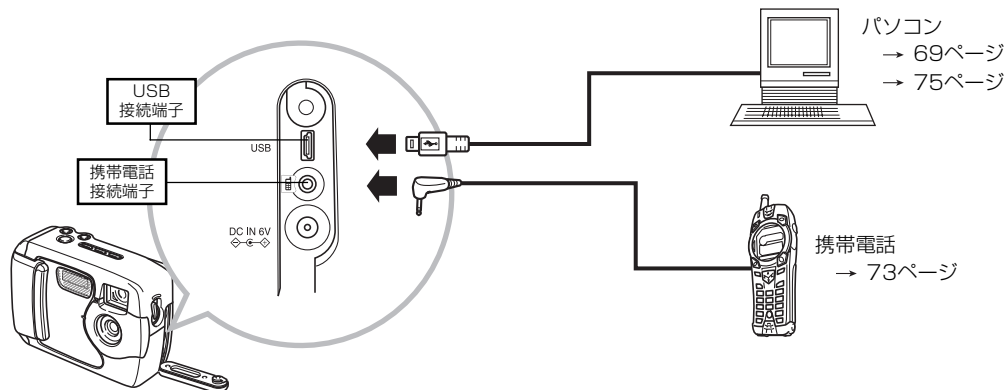
3.【+】または【−】で設定内容を選び【シャッター】を押します。

ノーマル ：デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに保存する場合に選びます（マスストレージクラス）。（69ページ）

PCカメラ ：ビデオ会議に使用するなど、PCカメラとして使用する場合に選びます（イメージクラス）。（75ページ）

重要! • パソコンにUSB接続するときはACアダプターを使用してください。

他の機器との接続

本機は、接続用の端子として【📱】(携帯電話接続端子)、【USB】(USB接続端子)の2つを備えています。携帯電話やパソコンに接続して使用することができます。

重要!
- 接続は必ず本機と外部機器の電源を切った状態で行ってください。
- 接続する際は接続する外部機器の取扱説明書もあわせてお読みください。
- パソコンのCRTに同一の画像を表示して放置しておくことはおやめください。残像現象(画面焼け)をおこす場合があります。
- 本機ではケーブルを通じて他のカシオデジタルカメラへ画像を送ることはできません。
- 本機ではパソコンとのシリアル通信(RS-232C、RS-422端子への接続)はできません。

撮影画像をパソコンに取り込む

本機は付属のCD-ROMに収録の専用ソフト(Photo Loader)を使用して本機の撮影内容をデジタルデータの状態でパソコンに転送することができます。USB端子を備えたパソコンに接続することができます。また、メモリーカードを直接接続できるパソコンでも画像を活用することができます。

USB端子での接続

USB端子を備えたパソコンと本機の【USB】(USB接続端子)を接続することで簡単にパソコンへのデータ転送ができます。接続には付属のUSBケーブルが必要です。初めにUSBドライバをパソコンにインストールすれば、付属のUSBケーブルでパソコンと本機を接続するだけで、パソコン上の外部記憶装置(カードリーダー／ライター)として認識することができます。さらに専用ソフト(Photo Loader)をインストールすることで、より高度な画像の管理ができます。具体的な接続方法、USBドライバやPhoto Loaderのインストール方法、動作環境については専用ソフト取扱説明書(インストール編)をお読みください。

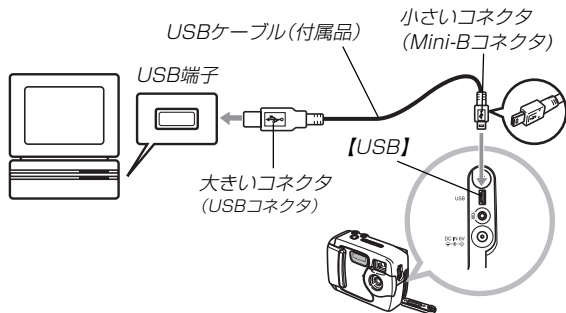
重要!
- パソコンの種類によっては、使用できない場合があります。
- USBハブや拡張USBボードに接続した状態での動作は、保証できません。

接続のしかた

1. USB端子を備えたパソコンにUSBドライバをインストールします。

- 画像の自動取り込みや管理を行いたい場合はPhoto Loaderもインストールします。
- インストール方法については、「専用ソフト取扱説明書」をご覧ください。

2. 本機のUSBモードを“ノーマル”に設定しておきます(67ページ)。

3. 【端子カバー】を開け、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

4. **【電源スイッチ】を“ON”に合わせ、【ダイヤル】を“PC”（PC接続モード）に合わせます。**

- PC接続モードでは【電源スイッチ】を含めてすべてのキー操作が無効となります。
- 【液晶モニター】がオフ、【動作確認用ランプ】が緑色に点灯します。

5. **パソコンで画像の取り込みを行います。**

6. **取り込みが終了したら、USBケーブルをはずします。**

- 詳しいはずしかたは「USB接続のはずしかた」をご覧ください。

- USBケーブルをカメラに接続するときは、本機のUSB接続端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと、正常に動作しません。
- USBケーブルからは本機に電源は供給されません。
- パソコンとの通信を行う際、残り少ない電池で本機を使用しますと、画像データの通信中に電源が切れる可能性があります。パソコンとの通信には専用ACアダプター（別売品）をお使いください。
- 別売のUSBケーブルQC-1Uは使用できません。
- 通信中にケーブルを抜かないでください。データが破壊される恐れがあります。

USB接続のはずしかた

WindowsMe/98の場合

USBケーブルをデジタルカメラからはずし、カメラの電源を切ります。

Windows2000の場合

パソコン画面上のタスクトレイのカードサービスを左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択します。その後、USBケーブルをデジタルカメラからはずし、カメラの電源を切ります。

Macintoshの場合

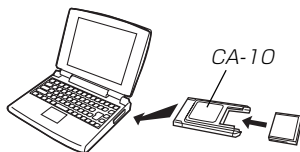
ファインダー上のカメラのドライブをゴミ箱に捨ててから、USBケーブルをデジタルカメラからはずし、カメラの電源を切ります。

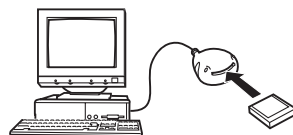
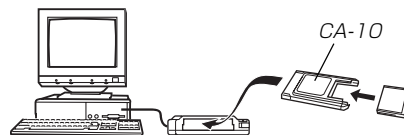
- USBでの通信が終了したら、【ダイヤル】を切り替えることにより、他のモードに移行できます。また、【電源スイッチ】で電源を切ることができます。

メモリーカードを直接接続する

パソコンとの画像のやりとりをメモリーカードから直接行うことができます。また、付属のソフト(Photo Loader)を使用して、撮影内容をパソコンに自動的に保存することもできます。パソコンの機種によって接続方法が異なります。代表的な接続方法は次の通りです。

- コンパクトフラッシュカードスロットのある機種
  コンパクトフラッシュカードを直接差し込みます。

- PCカードスロットのある機種
  別売のPCカードアダプター<CA-10>を使用します。具体的な使用方法はPCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書を参照ください。

- 前記以外の機種

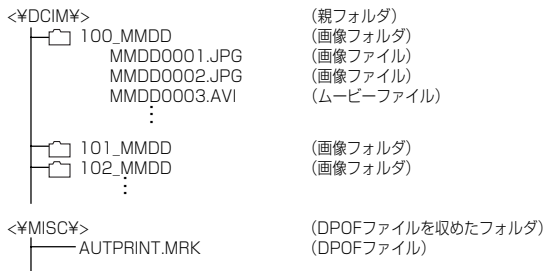
1）市販のコンパクトフラッシュカード用リーダー／ライターを使用します。
具体的な使用方法はコンパクトフラッシュカード用リーダー／ライターに付属の取扱説明書を参照ください。

2）市販のPCカード用リーダー／ライターと別売のPCカードアダプター<CA-10>を使用します。
具体的な使用方法はPCカード用リーダー／ライターとPCカードアダプターに付属の取扱説明書を参照ください。

メモリーカード内のデータについて

本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF（Design rule for Camera File system）規格に準拠した方法でメモリーカードへ保存されます。DCF規格とは、画像ファイルと画像に関連するファイルをデジタルカメラと関連機器の間で簡単に交換することを目的とした規格です。

DCF規格について

DCF規格対応の機器（デジタルカメラやプリンターなど）の間で画像の互換性があります。画像ファイルのデータ形式やメモリーカード内のディレクトリ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンターで印刷したりすることが可能です。逆にDCF規格対応の他社のデジタルカメラの画像も本機で見ることができます。本機では画像ファイルの管理に役立てるため、画像フォルダ名と画像ファイル名に日付を使用しています（62ページ）。

メモリーカード内のディレクトリ構造

■ディレクトリ構造

■フォルダ／ファイルの内容

- 親フォルダ
  デジタルカメラで扱うファイル全てを収めたフォルダです。
- 画像フォルダ
  デジタルカメラで撮影した画像ファイルを収めたフォルダです。
- 画像ファイル
  デジタルカメラで撮影した画像ファイルです。
- ムービーファイル
  デジタルカメラで撮影したムービーファイルです。
- DPOFファイルを収めたフォルダ
  DPOFファイルなどを収めたフォルダです。

このデジタルカメラで扱える画像ファイル

- GV-10で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

※ ただし、DCF規格の機能で使用できないものもあります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

パソコン上でメモリーカードを扱うときの注意点

- メモリーカードの内容をパソコンのハードディスクやMOディスクなどに保存する際は"DCIM"フォルダごと保存してください。その際"DCIM"フォルダの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーカードに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で"DCIM"に戻してからご使用ください。本機では"DCIM"以外の名前のフォルダは認識されません。"DCIM"フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してから使用してください。
- 一度パソコンのハードディスクやMOディスクなどにファイルを保存したあとのメモリーカードは、中のファイルをすべて削除するか、フォーマットしてからデジタルカメラでご使用になることをおすすめします。

携帯電話に画像を送る

本機と携帯電話を接続して、本機で撮影した画像を簡単に携帯電話へ送り、待受画面などに利用したり、携帯電話の種類によってはメールに画像を添付して送ることができます。操作の方法や転送後の画像の利用方法等については、別売品の接続ケーブルに付属の取扱説明書や、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

使用できる携帯電話

使用可能な携帯電話はカシオホームページ(http://www.casio.co.jp/)でご確認ください。専用の携帯電話接続ケーブル(別売)で本機と携帯電話を接続します。

- EZweb@mail対応機種では、転送した画像をメールの添付ファイルで送ることができます。
- 使用する携帯電話によって、本機の設定内容("リンク"の設定)を変更する必要があります。
  詳しくは別売品の接続ケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。

■必要な別売品

携帯電話接続ケーブル(別売):QM-2D(NTT DoCoMo用)
QM-1C(cdmaOne用)

重要! • 携帯電話に転送した後の画像の利用方法は、接続した携帯電話により異なります。

画像の転送のしかた

1. **カメラと携帯電話を携帯電話接続ケーブルで接続します。**

2. **【ダイヤル】を"📱"(携帯リンクモード)に合わせます。**

3. **【+】または【−】でお持ちの携帯電話に合ったモードを選び【シャッター】を押します。**

- モードは接続する携帯電話によって異なります。どのモードに合わせるかは、カシオホームページ(http://www.casio.co.jp/)でご確認ください。

4. **【+】または【−】で携帯電話に送りたい画像を選び【シャッター】を押します。**

- 画面上の📱が点滅し、画像が転送され手順2の画面に戻ります。
- 携帯電話側の詳しい操作方法は、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

PCカメラとして使用する

本機とパソコンを接続して、PCカメラとして使用することができます。ビデオ会議、WEBチャットなどに使用することができます。

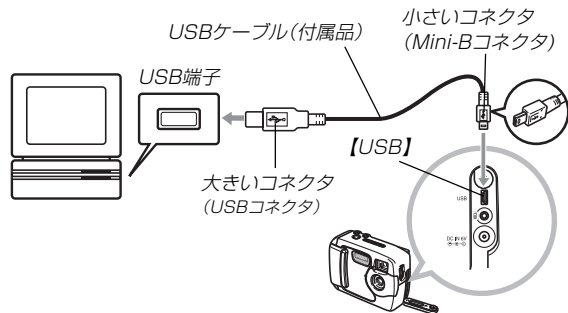
重要! • Macintoshには対応していません。

接続のしかた

1. USB端子を備えたパソコンにUSBドライバをインストールします。

- 「撮影画像をパソコンに取り込む」(69ページ)の操作で、すでにUSBドライバをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。
- インストール方法については、「専用ソフト取扱説明書」をご覧ください。

2. 本機のUSBモードを“PCカメラ”に設定します(67ページ)。

3. 【端子カバー】を開け、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

4. 【電源スイッチ】を“ON”に合わせ、【ダイヤル】を“PC”(PC接続モード)に合わせます。

- PC接続モードでは【電源スイッチ】を含めてすべてのキー操作が無効となります。
- 【液晶モニター】がオフ、【動作確認用ランプ】が緑色に点灯します。

5. パソコンでビデオ会議など、PCカメラとして使います。

6. 使い終わったらUSBケーブルをはずします。

- 詳しいはずしかたは「USB接続のはずしかた」(70ページ)をご覧ください。

別途ご準備頂きたいこと

PCカメラ用として使用する場合はビデオ会議用のアプリケーションソフトを準備してください。

参考例：「Microsoft NetMeeting」

本機をビデオ会議などで使用される場合は、モデムやTA(ターミナルアダプタ)などのネットワーク機器、スピーカーやマイクなどを別途ご準備頂く必要があります。

PCカメラとして使用する場合のご注意

- 本機への電源はUSB接続端子を通じて、パソコンから供給されません。本機の電源を使用します。
- 画像サイズ、フレームレートの設定は、パソコンのソフト側で行ってください。
- PCカメラとして使用する場合は、使用されるソフトの取扱説明書にそった使いかたをしてください。
- PCカメラとして映し出された画像を静止画または動画として保存することができるかどうかは、PCカメラ用ソフトの取扱説明書でご確認ください。

重要!
- パソコンの種類によっては、使用できない場合があります。
- USBハブや拡張USBボードに接続した状態での動作は、保証できません。

SET UPメニュー一覧表

SET UP(セットアップ)メニューに表示されている項目の一覧表です。

項目	設定内容
ショウキョ／フォーマット	ショウキョ(ALL)／フォーマット
サイズ／ガシツ	1600×1200SUPER 1280×960FINE 1280×960NORMAL 640×480FINE 640×480NORMAL
ブザー	オン／オフ
DPOF(プリントオーダー)	コベツ／イッカツ
トケイ	スタイル／ジコク　セッテイ
オープニング	タイプ1／タイプ2／オフ
LANGUAGE／ゲンゴ	ENGLISH／ESPAÑOL／DEUTSCH／FRANÇAIS／ITALIANO／JAPANESE
USB	ノーマル／PCカメラ

故障とお思いになる前に

現象と対処方法

	現　象	考えられる原因	対　処
電源について	電源が入らない。	1）電池が正しい向きに入っていない。 2）電池が消耗している。 3）本機専用以外のACアダプターを使用している。	1）電池を正しい向きに入れる（→33ページ）。 2）新しい電池と交換する（→33ページ）。 3）本機専用のACアダプター（AD-C630J）を使用する。
	電源が勝手に切れた。	1）オートパワーオフが働いた（→39ページ）。 2）電池が消耗している。	1）再度電源を入れ直す。 2）新しい電池と交換する（→33ページ）。
	【液晶モニター】に“ ”が表示された。	電池が切れる寸前である。	新しい電池と交換する（→33ページ）。
撮影について	【シャッター】を押しても撮影できない。	1）【ダイヤル】が撮影できる位置になっていない。 2）【フラッシュ】充電中である。 3）“メモリーガイッパイデス”と表示されている。 4）メモリーカードが入っていない。	1）撮影できる位置に合わせる。 2）【フラッシュ】の充電が終わるのを待つ。 3）いらない画像を消去する。または、別のメモリーカードをセットする。 4）メモリーカードをセットする。
	セルフタイマーでの撮影の途中で電源が切れた。	電池が消耗している。	新しい電池と交換する（→33ページ）。
	【液晶モニター】に表示される画像のピントがあまい。	1）被写体が風景や人物なのに、（マクロ）になっている。 2）マクロ撮影をしているのに、（標準）になっている。	1）風景や人物を撮影する場合は、（標準）にする。 2）マクロ撮影をする場合は（マクロ）にする。

	現　象	考えられる原因	対　処
撮影について	撮影したのに保存されていない。	1) 記録が終了する前に電池切れになった。 2) 記録が終了する前に【電池ブタ】を開けた。	1) バッテリー残量表示が"▭"になったらすみやかに新しい電池と交換する。 2) 記録が終了する前に【電池ブタ】を開けないでください。
再生について	再生した画像の色が撮影時に【液晶モニター】で見た色と違う。	1) 太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。 2) 撮影時に画質設定を変えて撮影している。	1) 直接光がレンズに当たらないようにしてください。 2) 同じ画質設定で撮影してください。
	9画面表示で【+】【−】が働かない。	画面が停止した状態でないと【+】【−】は働きません。	画面の停止中に【+】【−】を押してください。
	画像が表示されない。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードを使用している。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードは、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
その他	すべてのボタンやスイッチが働かない。	他の周辺機器との接続中に静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。	電池を取り出し、ACアダプターのプラグを本機から抜き、入れ直してから再度操作してみてください。
	【液晶モニター】がつかない。	USB通信中である。	メモリーカードにパソコンからのアクセスがないことを確認してUSBケーブルを抜いてください。
	パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。あるいは、PCカメラとして使用できない。	1)USBモードが正しくない。 2)USBドライバがインストールされていない。 3)カメラの電源が入っていない。	1)使用する用途に合ったUSBモードに切り替える(67ページ) 2)専用ソフト取扱説明書(インストール編)を参考にUSBドライバをインストールする。 3)カメラの電源を入れる(39ページ)

画面に表示されるメッセージ

(電池マーク)	電池がなくなったときに表示されます。
ガゾウガ　アリマセン	まだ何も撮影していない状態、あるいは撮影内容をすべて消去して本機に一枚も無い状態です。
キロク　エラー	画像データの記録を失敗したとき表示されます。撮影し直してください。
コノガゾウハ ヒョウジ　デキマセン	画像ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
コノサイズノ　ガシツ　デハ メモリガ　タリマセン メモリガ　イッパイ　デス	●現在の画質／サイズでは撮影できなくなり、他の画質／サイズに切り替えるとまだ撮影できることを示しています。画質／サイズを切り替えるか、不要な画像を消去する操作を行う必要があります(60ページ)。 ●撮影可能枚数を使い切りました。撮影を行いたい場合は、不要な画像を消去する操作を行う必要があります(60ページ)。 ●メモリーカードにパソコンからデータを転送したときに、メモリーカード内の空き容量が少ないために“DCIM”フォルダやその他のファイル(72ページ)が作成できない場合表示されます。パソコン上でメモリーカード内の不要なファイルを削除して、空き容量を増やしてください。
フォーマットサレテイマセン フォーマット→シャッター	メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードのフォーマットを行ってください(42ページ)。
(カードマーク) メモリーカードガ ハイッテ　イマセン	本機にメモリーカードが入っていない場合に表示されます。メモリーカードを入れてください(40ページ)。

メモリーカード　エラー **デンゲンヲ　イレナオスカ** **フォーマット　シテクダサイ** **フォーマット → シャッター**	メモリーカードに異常が発生した場合に表示されます。下記の操作で解除が可能です。 **重要!** ● 下記の操作を行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。下記の操作を行う前に、パソコン等を利用してメモリーカード内の正常なファイルを保存してください。 **1.【シャッター】を押します。** ● フォーマットの操作を行うときは、ACアダプターを使用するか、新品のアルカリ電池、またはリチウム電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行われず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。 ● フォーマットを終了すると"ガゾウガアリマセン"と表示されます。これは、フォーマットが正しく行われたことを示します。
DCF ERROR	パソコンでフォルダなどを追加した場合など、DCIMフォルダ内に同じ連番のフォルダがある場合に表示されます。メモリーカードをパソコンで開いてフォルダ名の連番を他の番号に修正してください。
DIAL ERROR	ダイヤルが中間位置で止まっているときに表示されます。ダイヤルの位置を直してください。

主な仕様／別売品

主な仕様

品名 .... デジタルカメラ
機種名 GV-10
記録画像ファイル
フォーマット .... 静止画：JPEG(Exif Ver.2.1)、DCF*準拠、DPOF対応
動画：AVI(Motion JPEG)
* Design rule for Camera File systemの略です。
記録媒体 .... コンパクトフラッシュカード(Type I 対応)
記録画素数 .... 1600 × 1200 pixels
1280 × 960 pixels
640 × 480pixels
画像ファイルサイズ(可変長)

● 静止画

出力画素数 (pixels)	撮影画質	ファイルサイズ
1600×1200	SUPER	約850KB
1280×960	FINE	約500KB
	NORMAL	約350KB
640×480	FINE	約150KB
	NORMAL	約90KB

● ムービー(320×240pixels)

記録容量	約300KB／秒
撮影時間	一度に撮影可能なムービーの最長時間は10秒

消去 .... 1画像単位、全画像一括消去可能
有効画素数 123万画素
撮像素子 1/3.2インチ正方画素原色CCD
(総画素数:131万画素)
レンズ .... F2.8 f=4.6mm
(35mmフィルム換算35mm相当)
ズーム デジタルズーム2倍
※デジタルズーム時、画像サイズは
640×480pixelsになります。
焦点調節 .... 固点焦点 マクロモード付き
撮影可能距離.............. 標準：約60cm〜∞
(レンズ表面より) マクロ：約10cm
露出制御 .... 測光方式： 撮像素子による中央重点測光
制御方式：プログラムAE
露出補正： −2EV〜+2EV(1/3EV単位)
シャッター .... CCD電子シャッター／メカシャッター併用
1〜1/1500秒
絞り .... F2.8/9.7 自動切替式
ホワイトバランス ...... 自動／固定(4モード)
セルフタイマー 作動時間10秒
内蔵フラッシュ .... 発光モード：自動発光、発光禁止、強制発光切替可能
フラッシュ撮影範囲：約0.6〜2m
撮影関連機能.............. 一枚撮影、連写撮影、ムービー撮影、セルフタイマー撮影、マクロ撮影、ベストショット撮影
モニター 1.6型TFTカラー液晶
61,380(279×220)画素

ファインダー .... 光学ファインダー／液晶モニター併用
時計機能 .... クォーツデジタル時計内蔵
日付・時刻：画像データと同時に記録
自動カレンダー：2049年まで
入出力端子 .... 外部電源端子、USB接続端子(Mini-B端子)、携帯電話接続端子
電源 .... 乾電池×4(単3形アルカリ電池およびリチウム電池)
充電池×4(単3形ニッケル水素蓄電池(NP-H3))
ACアダプター(AD-C630J)
ACアダプターチャージャー(BC-3HA)

電池持続時間

以下の電池持続時間は、標準温度(25℃)で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使用電池	連続再生時	連続撮影時
単3形アルカリ電池 LR6	約3時間50分	約2時間40分(約800枚)
単3形リチウム電池 FR6	約6時間10分	約5時間40分(約1700枚)
ニッケル水素蓄電池 NP-H3	約3時間40分	約2時間50分(約850枚)

※アルカリ電池は松下電池工業(株)製、リチウム電池は富士写真フィルム(株)製の場合の数値です。電池持続時間はメーカーによって異なります。連続撮影枚数は、フラッシュを使用せずに撮影した場合の撮影可能枚数です。フラッシュの使用、電源のON/OFFなどの条件により数値は異なります。(詳細については35ページ以降をご覧ください。)

消費電力 約5.2W
サイズ(突起部除く) .... 幅１００.５ｍｍ×高さ７４.０ｍｍ×奥行き49.0mm
質量 .... 約250g(電池、付属品除く)
付属品 .... コンパクトフラッシュカード(８ＭＢ)、ストラップ、レンズキャップ、キャップホルダー、USBケーブル、CD-ROM、アルカリ電池(LR６×４本)、取扱説明書(保証書付き)、専用ソフト取扱説明書(インストール編)

電源について

- 充電式電池は、別売品のニッケル水素蓄電池(Ni-MH)NP-H3をご使用ください。他の充電式電池については動作保証いたしかねます。
- 本機には時計専用の電池は入っておりません。単３形電池やACアダプターで電源が供給されていないと、約24時間で日時がリセットされますので、その場合は再度設定をしてください。(43ページ)

液晶パネルについて

- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

別売品

- コンパクトフラッシュカード　CF-8x　(8MB)
CF-16x　(16MB)
- PCカードアダプター　CA-10
- ACアダプター　AD-C630J
- ACアダプターチャージャー　BC-3HA
- ニッケル水素蓄電池／急速充電器セット　BC-1HB4
- ニッケル水素蓄電池(4本セット)　NP-H3P4
- 携帯電話接続ケーブル
NTT DoCoMo用　QM-2D
cdmaOne用　QM-1C

カシオデジタルカメラに関する情報は、カシオホームページでもご覧になることができます。

http://www.casio.co.jp/

索引

ら

QVNetのお知らせ

QVNetは入会無料！カシオ製デジタルカメラをお買い上げのお客様を対象としたインターネット上の会員制サービスです。

QVNetのアドレスはhttp://QVNet.casio.co.jp/

主なサービス内容 ※1

開発フォーラム 当社のQV開発者が直接応答	**フリートーク** 会員同士で自由に意見交換
ダウンロード QV関連 ソフトダウンロード	**撮影テク講座** 講師陣が作例を示し 撮影テクを提供
QVNet News QV最新情報をメールで配信	**取材！開発秘話** 製品開発の裏話を取材

QVNet（会員制）

- 入会は簡単！会員登録とユーザー登録が同時に済みます。
- アンケートはがきを投函せず、ネット上での回答もＯＫ。
- ユーザー登録のしかた
  ユーザー登録はQVNet(http://QVNet.casio.co.jp/)の【ユーザー登録(会員登録)】から【ユーザー登録】の画面に入り、機種リストからご利用のデジタルカメラを選択して登録を行ってください。

その他のＱＶ関連ウェブ情報

※1 QVNetのサービス内容は会員の意見・要望や公開アンケートの結果により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
※2 QV PLAZAのアドレスはhttp://www.casio.co.jp/QV/です。